

新 庁 舎 通 信

松江市役所

松江市新庁舎整備事業の「今」をお届けします

現庁舎

新庁舎建設地
(第1期工事)

8月中旬から
地下の掘削作業を
始めました。

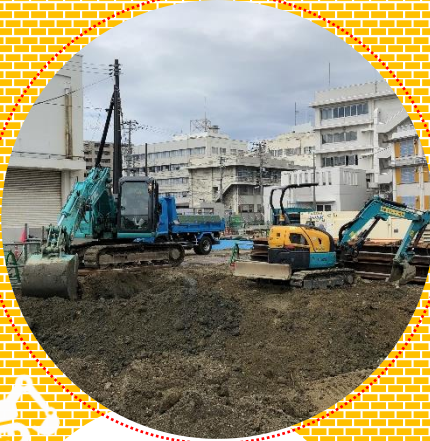
左の写真の赤い鉄骨は山留(やまどめ)工事といって、現場を掘り続けた時に周囲が崩れてこないようにするための「突っ張り棒」のようなものです

現庁舎

掘削現場

山留工事により、安全な環境で深いところまで掘り進めることができます。右の写真では、地下2.5メートルまで掘り下げています。

9月下旬



掘削工事にはバックホウも大活躍します。新庁舎整備事業では、深さ6メートル付近まで掘り下げます。



大型のクレーンも使用します。これはクローラークレーンと呼ばれるもので、腕の長さが約32.1m(松江城天守閣の高さとほぼ同じ)です。

新庁舎完成予想図(国道431号から)



新庁舎完成予想図(内観)

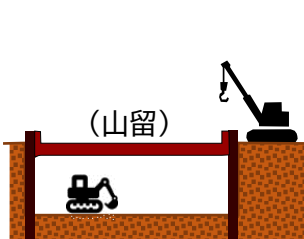


【令和3年度 工事スケジュール】

R3年度												R4年度
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
撤去工事												
	矢板工事											
		杭工事			①							
					掘削・山留工事			②				
								基礎・地下1階躯体工事			③	
										免震工事		④
												鉄骨工事

【今後の工事の流れ】

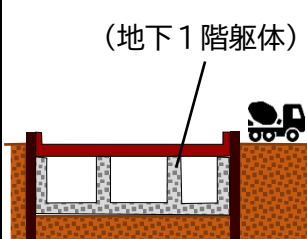
①掘削工事



本年度の工事は、基礎工事や地下の工事が作業の中心になります。

現在の掘削工事が終了したら、基礎と、建物本体(「躯体(くたい)」といいます)のうち、地下部分を造ります。

②基礎・躯体工事

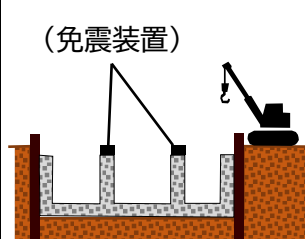


基礎・躯体工事では、鉄筋を組んだりコンクリートを流し込みます。

※躯体工事の他市事例(旭川市)

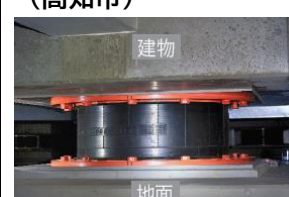


③免震工事

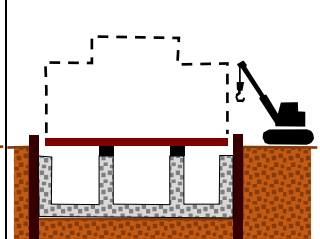


地震の揺れを建物に伝えないようにするための「免震装置」を設置します。

※免震装置の他市事例(高知市)



④鉄骨工事



免震装置の設置が完了すれば、令和4年度から、いよいよ地上の建物の建設にとりかかります。

新庁舎整備事業についてお知りになりたいことなどございましたら、お気軽に新庁舎整備課へご連絡ください。また、ホームページも随時更新しています(「松江市 新庁舎」で検索)。

